豊里一の沢川 〔所在地：旭川市神居町西丘，豊里〕

土 砂 災 害 に 備 え て　　大雨の時など避難の際に必要となりますので，家族全員がわかる場所に貼っておきましょう。

①土砂災害警戒区域や避難所等を確認しておきましょう！

○黄色で囲まれた範囲（ **土砂災害警戒**　　）は「土砂災害が発生した場合，住民の生命又は身体に危害が生じるおそれのある区域」です。

○赤色で囲まれた範囲（ **土砂災害特別警戒区** ）は，「建築物に危害が生じ，住民に著しい危害が生じるおそれがある区域」です。

土砂災害警戒区域等にお住まいの方は，大雨のときには警戒避難が必要となる可能性がありますので，注意してください。

日頃からの確認

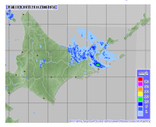
②雨が強くなってきたら，積極的に雨量情報，予報，警報等の情報を入手しましょう！

○まずはテレビやラジオ等で気象情報を確認しましょう。

○雨が強くなってきたら，電話やインターネットでも確認しましょう。

☆インターネットによるサービス
- 北海道防災情報ホームページ
  http://www2.bousai-hokkaido.jp/pc/(3gwm5f45lw2zxo2gf4iems55)/index.aspx
- 気象庁ホームページ
  http://www.jma.go.jp/jma/

☆携帯電話によるサービス
- 北海道防災情報ホームページ
  http://www2.bousai-hokkaido.jp/mobile



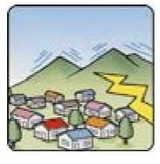
雨が強くなってきたら

～雨の強さと災害の発生状況～

1時間雨量	人が受けるイメージ	発生状況
10～20mm未満	ザーザー降る。	長く続くときは注意が必要。
20～30mm未満	どしゃ降り。	側溝や下水，小さな川があふれ，小規模なが け崩れが始まる。
30～50mm未満	バケツをひっくり返したように降る。	山崩れ，がけ崩れが起きやすくなり，危険地帯では避難の準備が必要。都市では下水管から雨水があふれる。
50～80mm未満	滝のように降る。	都市部では地下室や地下街に濁水が流れ込む場合がある。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。
80mm以上	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。	雨による大規模な災害が発生するおそれが強く，厳重な警戒が必要。

③前兆現象を見つけたら，直ちに市役所や消防本部に連絡しましょう！
また，早めの避難を心がけましょう！

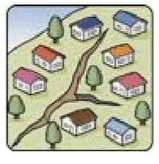
こんな前兆現象に注意！

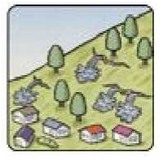

山鳴りがする

雨が降り続いているのに川の水位が下がる

川の流れが濁り流木が混ざりはじめる

小石がパラパラ落ちてくる

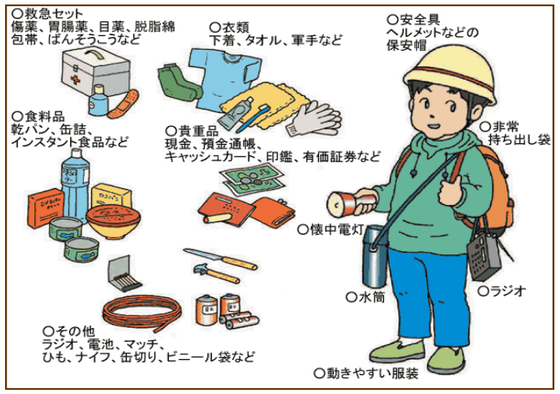

地面にひび割れができる


斜面から水がふき出す

④＜避難準備・高齢者等避難開始＞が発令されたら，非常持出品の用意などを開始しましょう！
また，避難行動要支援者（高齢者等）など，特に避難行動に時間がかかる方は，避難を開始しましょう！

⑤＜避難勧告＞や＜避難指示（緊急）＞が発令されたら，直ちに避難しましょう！

- 避難所への避難が困難な場合には，周囲の建物より比較的高い建物（鉄筋コンクリート等の堅固な建物）の２階以上（斜面と反対側の部屋）に避難するなど，生命を守る最低限の行動をしてください。



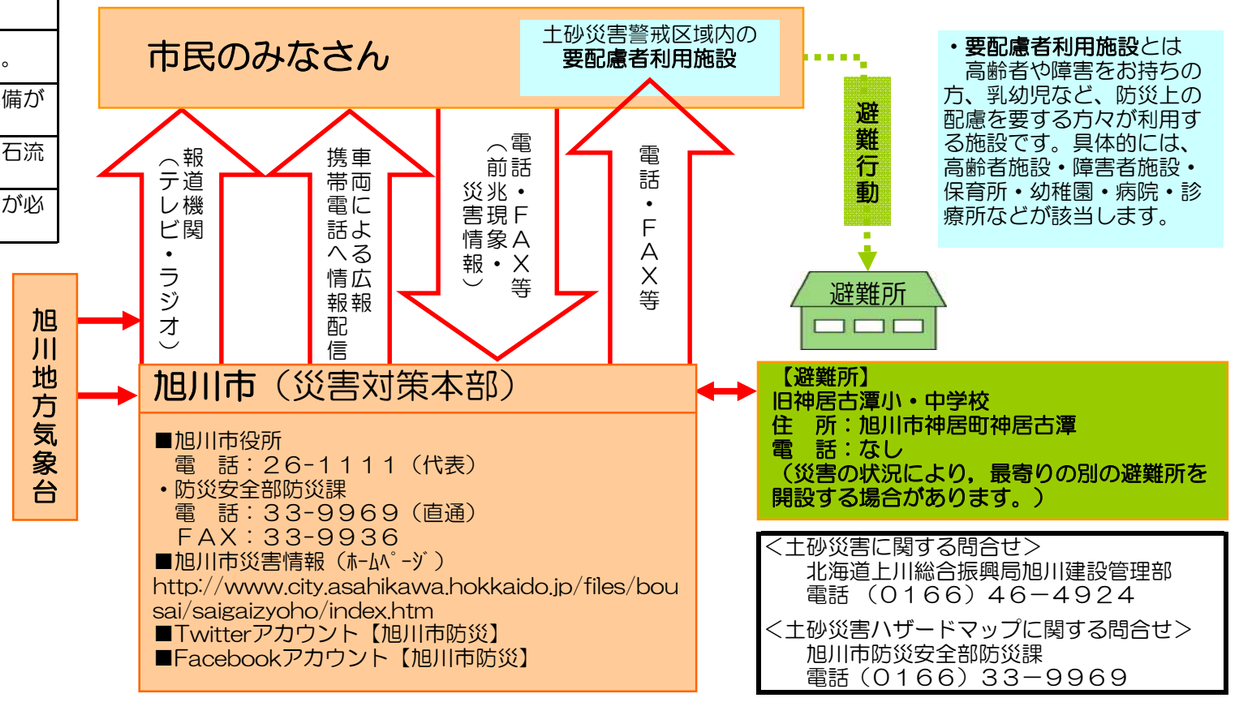
⑥避難の際はこんなことに気をつけましょう！

- 避難所へ避難する場合は，他の土砂災害危険箇所や浸水想定区域（浸水するおそれがある区域）を避けた避難経路を選択しましょう。
- 渓流から直角方向に避難し，できるだけ渓流から離れましょう。
- 携行品は限られた物だけ（非常持出品）にしましょう。
- 服装は軽装とし，帽子，雨合羽，防寒用具を携行しましょう。
- 火気の始末をし，火災が発生しないようにしましょう。
- 戸締まりをしましょう。

災害時の家族との連絡方法を決めておきましょう
（例）ＮＴＴ災害用伝言ダイヤル「１７１」の活用 ｛ メッセージの録音：１７１＋１＋自宅の番号 / メッセージの再生：１７１＋２＋自宅の番号

■　気象情報・避難情報の伝達経路

避難勧告などの伝達は，広報車，携帯電話への配信のほか可能な方法により行います。また，テレビ，ラジオ等の放送機関に放送を依頼します。大雨時には電話回線が混み合う場合がありますので，前兆現象の通報以外には，できるだけ使用されないようにお願いします。



・**要配慮者利用施設**とは
高齢者や障害をお持ちの方、乳幼児など、防災上の配慮を要する方々が利用する施設です。具体的には、高齢者施設・障害者施設・保育所・幼稚園・病院・診療所などが該当します。